日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会（１９９４～２０１６）

第２２期・１巻　２０１６年７月号　ＮＯ．１８３

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

ＮＯ．１６９２　６月度・ハイクの日（夏山訓練）
６月２６日（日）　富士山・宝永山２３５２ｍ峰

もくじ

１．表紙
２．山々のブログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1p
２．経過報告　　全国連盟・県連盟・東部ブロック会議・・・・・・2p
３．会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5p
４．個人山行報告
５．７月度・山行予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13p
６．８月度・山行予定
７．今後の予定
８．その他・四方山話
９．今月のベスト・ショット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15p

「山々のブログ」　Ｎｏ．１５９　（旧リレー・エッセイ）

後藤隆徳

　三年ぶりに、越前岳・ブナ植樹地整備をした。登山コースは、山神社～越前岳～呼子岳～割石峠～山神社。天気は晴れ。参加は５名。

　資材を担いて山神社発。私は背負子で１．８ｍの杭９本を背負ったが、長い杭が樹木に引っ掛り、その都度、屈んでかわすのが大変だった。腰が痛くて・・・。

　２時間半で越前岳着。作業は、まず**「１３年経った杭とロープ交換」**ロープを切って杭を抜く。１３年の割に杭はシッカリしていた。ロープの色は褪せたが、まだ使えそうだった。

　その後、ブナ測定。当初、ここに愛鷹連峰から採取し実生から育てた１０本のブナを２００３年植樹した。２本行方不明で現在８本。１３年経過したが、全体的に生育は良くない。枯死していないが、スクスク育つ感じでなく、委縮している感じ。理由は不明。

　ただ中に一本だけ、スクスクいい感じで育っているのがあった。樹高は２ｍ近くなった。思うに実生が落ちて自然条件の中で育った訳でない。人為的な植樹は、やはり無理があるのか。標高１５００ｍの厳しい自然条件の中で、植樹行為は厳しいかも知れない。

　反面、立ち入り禁止になったこの地は、ミツバツツジなど、とても元気に繁茂している。鹿の食害金網の内と外の違いの様な感じだった。
　しかし、１本は元気に育っている。それは救いだった。５０年前、大ブナで展望が悪かった越前岳頂上に再びブナが甦るか？？まだまだ、試行錯誤は続く。

　元々、ブナを育て観察するに、**「１０年程度でウンヌンするのは、早計」**ブナの生長は遅い。早くて２５年で成木、それから花が咲くのは、５年後の３０年という。

　従って、孫子の代まで観察は、続く。私が死んで次の代に観察を引き継ぐ。そんなミッションである。

１．経過報告　　全国連盟・静岡県連盟・東部ブロック会議

イ．50 期第 2 回理事会の報告・・・・5/22（清水区にて）＝小松理事

1.各専門部担当者会議

・組織部　13/16 団体 17 名の参加・・・**今期、小松が担当**

組織総数 700 名回復目標について

各会の現状調査・・・・入会の問い合わせ数は

プログ＞ハキング教室＞紹介＞ホームページ・・・**静岡労山など、ブログが効果的**

・遭対部

12/16 団体 12 名の参加　GW 山行の報告・・・0 件

事故撲滅について・・・事故発生は下山中の 14:00 頃（疲労）

・自然保護部

6 月の一斉清掃登山　トイレの現状・リニヤ新幹線・鹿害の現状

2.各ブロック報告

東部

50 周年の原稿は 7/末までに後藤さんまでに

交流ハイク 9/10（土）～11（日）山域は検討中

中部

平和行進の参加・「福島の子供プロジェクト」について

県連 50 周年記念祝賀会について・・・清水テルサ（11/27）

西部

平和行進の参加・50 周年の記念品（手拭）の図案について

3.ベルグバハト隊総会＝8 名出席

活動報告＝総会、リーダ会 2 回、夏季訓練（6/15）、秋季訓練（10/19）、

冬季訓練（2/7）、活動計画

4.第 50 期　理事名簿確認

5.県内平和行進＝5/19（神奈川から）～5/31（愛知へ）

県内通し行進者・・・山崎（焼津山の会）

6.安全登山講習会　10/30（日）　講師：猪熊隆之氏（やまてん代表）・・・確認中

7.「南アルプス学概論、講座」　5/28～7/16

8.ストップ・リニア！5/20 東京地裁に提訴

9.熊本地震救援募金について＝県連口座・・・募金　300～500 円/一人（任意）・・・7 月 10 日まで

10.県連創立 50 周年記念に向けて

記念誌の発行・・・（東部）250 ページ　300 部作成　￥800/部程度

記念祝賀会の開催・・・（中部）　清水テルサ　11/27　10:00 ～16:00

記念講演　服部文祥（サバイバル登山家）

記念品の作成・・・（西部）手拭　￥800 程度

特別表彰（案）・・・山崎勝治氏（多年にわたる平和行進の通し行進）
レセプションの参加人数の把握

11　福島子ども保護プロジェクトの開催＝8/2（火）～4（木）　20 名程度（4～6 年生）
交流サンターささま（島田市）
県連会員へカンパのお願い・・・300～500 円/一人（任意）・・・7 月末までに 会でまとめて

下記口座へ
【振込口座】　スルガ銀行　相良支店　普通預金　口座番号 ３５３９０１８
名称　静岡県勤労者山岳会　会計　山崎 勝治

12.　山の日制定記念企画（県下 4 団体協賛による）
記念講演・・・8/11（木）あざれあ（10:00～16:00）
松島信行氏、野口いずみ氏　写真パネル展他
記念交流ハイク・・・10/16（日）・・・各 50 名程度
東部：富士山宝永山周辺
中部：大日峠の古道と井川湖渡船
西部：湖西連峰　大知波峠

13.　南アルプス高山植物保護ボランティア活動の案内

14.　財政部報告

２．東部ブロック報告（５/２２）

第２回　東ブロ会議報告書
出席者
伊豆ＨＣ：塚平（○）三島労山：山口（○）裾野ﾚｲﾎｰ：小松（○）沼津労山：植松（○）駿東山の会：近森（○）あさぎり山の会：斉藤（○）山楽歩：加藤（○）　計　７　人

１・５０周年行事を成功させる。記念誌の状況は？
印刷は、竹本知事長にお願いする・・・と言うことで後藤さんから依頼あり

２・ブロック各会の交流と親睦を図る
ブロック交流山行を計画・実施　日　程＝９月１０日（土）～１１日（日）
山　域＝宿泊は市川大門・シルクセンター
役　割
① **計画書の作成（一日目）　・・あさぎり（斉藤）**
② 会　計　・・・・・・・三島労山（山口）
③ 宿の手配　・・・伊豆ハイク（塚平）
ミルクフレンドリー予定（電話０５５－２６９－２２８０）
④ 夜の宴会係り　・・・・・・・沼津労山（植松）・駿東山の会（近森）

⑤ 人員の把握　　・・・・・・・・各会で
⑥ 総まとめと名簿作成　　・・・・裾野レイホー（小松）

翌日の山行分担　３コース

① 樹海～大室山　　・・・沼津労山（植松）
② 毛無山～十二ケ岳　・・・ふじ山楽歩（加藤）
③ 雪頭ケ岳～鬼ケ岳　・・・駿東山の会（近森）

６月上旬までに作成
加藤宛にメール下さい。

３・平和行進への参加　　５／19（木）～31（火）

１９日（木）引継ぎ集会　神奈川県湯河原町川端公園集合・・三島労山①伊豆Ｈ①
２０日（金）田方・三島・長泉・裾野コース・・・伊豆Ｈ⑪三島労山①沼津労山①
２１日（土）御殿場・沼津コース・・・沼津労山①
２２日（日）富士宮・・・・・あさぎり山の会

３．第３回　東ブロ会議報告書　６月２０日（月）

出席者　　伊豆ＨＣ：河合・鍋島（２）三島労山：山口（○）裾野ﾚｲﾎｰ：小松・後藤（２）
沼津労山：植松（○）駿東山の会：近森（○）あさぎり山の会：斉藤（○）山楽歩　：加藤（○）
計　９　人

議　題

１・５０周年　記念誌の状況は？
東部：本体のひと筆山行と番外編の２部作とする。
中部・西部：未提出

２・ブロック各会の交流と親睦を図る
① ブロック交流山行を計画・実施
日　程＝９月１０日（土）～１１日（日）
山　域＝富士川流域

役　割
① 計画書の作成（一日目）　　・・あさぎり（斉藤）
② 会　　計　　・・・・・・・三島労山（山口）
③ 宿の手配　　・・・伊豆ハイク（塚平）

シルクフレンドリー（別途添付）（電話０５５－２６９－２２８０）
④ 夜の宴会係り　　・・・・・・・沼津労山（植松）・駿東山の会（近森）
⑤ 人員の把握　　・・・・・・・直ぐに各会で募集をかける。
⑥ 総まとめと名簿作成　　・・・・裾野レイホー（小松）
（最終的に８／２０日小松さん集約、人数を伊豆ハイクに連絡する）

翌日の山行分担　３コース
① 源氏山　　・・・・・レイホー（小松）
② 蛭が岳　・・・・・・・・・・・・・・沼津労山（植松）
③ 甲斐常葉（粟倉山・醍醐山）・・・・・三島労山

３・県連交流ハイク予定地は？　２０１７年１月

①　徳倉山　　②池の平山

４・その他

記念レセプション関係の記念誌、手ぬぐい、出席等の取りまとめ依頼を７月３０日頃に発信します。　　次回開催予定　　９月　５日（月）　場所：ちょっ蔵　　ＰＭ７：００～

４．６月度・会山行報告

山行NO　　１６８９
年月日　　２０１６．０６．０４（土）晴・頂上冷風気温低
山　名　　蓼科山（２５３１ｍ）
タイム　　下土狩５：００－新東名―甲府―諏訪ＩＣ－竜源橋発８：１４－天祥寺平９：３０－蓼科山荘１０：５９－蓼科山１１：５４－昼食１２：００～３３－スズラン峠―竜源橋１４：５５―下土狩１８：３０
標高差　　上り　竜源橋約１６５０ｍ～蓼科山２５３１ｍ＝約８８１ｍ
　　下り　　〃
参加者　　５名

梅雨に入る前、最後の晴天日だった。少しイイ山を狙って、久しぶりの蓼科詣で。蓼科別荘地はレンゲツツジが満開だった。今回は迷わず竜源橋着。車はなかった。涼しくて快適。むしろ手の指はかじかむ位だった。

今日は**「郭公の鳴き声」**を聞くのが楽しみだった。高原に響く郭公の声は、夏の到来を告げるものだ。天祥寺平に近づくと、やっぱり郭公が鳴いていた。ただ、まだ慣れない若鳥だろうか、鳴き方が**「カッコウ・カッコウ」**でなく、**「カッコググ・カッコググ」**と、何か冴えない。皆で、あれはまだ**「新人だね」（新鳥）**と評価した。（笑い）

例によってゴロゴロのゴロタ道を上る。実に歩き難い。花は少ない。上から沢山降りて来る。早い時間だが何処に行くのか。聞けば、大河原峠から蓼科山荘に上り、（蓼科山に上るかどうか不明）天祥寺平に下り、亀甲池・双子池を巡り、再び大河原峠に戻るという。う～ん、成る程、その手があったか。なかなかイイではないか。感心した。

ゴロタ石上り

蓼科山荘

ゴロタ石に山荘まで３０分と書いてあったが、なかなか着かない。程なく頭上で人声がして蓼科山荘着。登山者でごった返していた。総じて若い学生風が多い。殆どの登山者が、北の七合目から来る。こちらが最短距離。

山荘前の売店でオジサンが、セールスをしていた。何でも今日は、Ｔシャツが安いとか。長居せず通過。道はここから、前週同様、巨石を縫うように上る。次第に視界が広がる。山頂部が長く平らな特徴的な山が見えた。若い衆が、山名が分からないというから**「荒船山」**と教えた。**「ミネザクラ」**も分からないというから教えた。

自称、８３歳のオジサンが苦労して上っていた。バランスが悪く両手を使ってフラフラ上っている。やや心配であったが、追い抜きかなり離れた時、そのオジサンが**「ウワ～オ」**
みたいな声を上げ、真後ろにヒックリ返り落ちた。でも、ザックがあったので、大きな怪我はなかったようだ。上で同僚のオバサンが二人。伝えると一人下った。
この辺りは、**「ミネザクラ」**が満開で見頃だった。足元に、「イワカガミ」が咲いていた。
やがて山頂ヒュッテ着。なかなか素敵な小屋。トイレは２００－だった。

ここから頂上はすぐ。ただ、冷たい風が吹いていた。蓼科山は冬も風が強い山で有名。連休の八方と同じで、風が通る山なのだろう。すぐ、帽子を被り、上っ張りを羽織り、手袋をする。昼食は少し下で風を避けて摂った。Ｍさんは、離れた方向指示盤まで足を伸ばした。

午後は再び、ゴロゴロ・ガラガラの道を下る。実に歩き難い。ここも雪のある時期が楽だ。
こちらのルートは全く空いている。途中、日本語が上手い、中国人６名が遅い登山。最後の太めの方は、大汗を掻いていた。

下部に来ると、春ゼミが賑やかだった。この声は五月蠅いが、何故か嫌いではない。唐松の新緑が見事。ズミの花も満開だった。スズラン峠に降りて竜源橋に戻り終了。**「ソバ」**を食べたかったが、時間がなくパス。
今回も快適なイイ山でした。それにしても、山は多くの方で盛況。日本の皆さんは、本当に**「山」**が好きですね。

ズミの花

山行NO　１６９０
年月日　　２０１６．０６．１１（土）晴れ
山　名　　愛鷹連峰・越前岳（１５０４ｍ）
コース　下土狩６：００ー山の神初６：４５ーあしたか山荘―富士見台９：０３ー越前岳９：３４～１１：３３（ブナ植樹地整備・測定）ー呼子岳―割石峠１２：３１―大沢―山の神１４：０３ー美人の湯―反省会
参加者　５名

三年ぶりの越前岳ブナ植樹地整備・測定に行く。山の神から出発。荷物は多い。杭（１２本・１本約１．２ｋｇ）・１０ｍｍ２０ｍロープ・鉄ハンマー・鋸・鎌・鉈・表示看板（三島・ワタナベ看板謹製（Ａ４版）・看板用杭・看板用ネジ・ドライバー・背負子など。これを５名で手分けして持ち上げる。
杭が厄介だった。長さ１．８ｍ。かなり長い。私が背負子で８＋１本運ぶ。残り４本を参加者が持つ。皆はザックにくくりつけた。私は背負子で重心が高い。樹枝によく引っ掛かり、その都度、腰を屈め潜るので参った。それでも上りは少しイイが下りの屈みは最悪。

約２時間半で越前岳着。相変わらずの人気で登山者が多い。さっそく作業開始。まず、古い杭を抜く。結構、深く抜けないのもあった。抜いたら新しい杭を同じ所に打つ。これは鉄

ハンマーで打つが、上手く出来る。新しいロープを杭の穴に通す。穴は三つ開けてきたが、一番上で統一した。一回通し戻して通したロープに絡め、次に伸ばす。
三島・ワタナベ看板謹製の看板は、なかなかキレイな出来栄えだった。これを茶色の柱にビスで留めた。いままでは、アルミ板にペンキの手書きだったが、今度は格好イイ。

杭交換作業が終わり、ブナ測定に移る。まず、鎌で下草を刈る。とにかくこの地は、普段、人間が入らないので植物の繁茂が凄い。特に、ミツバツツジは元気がイイ。ミツバは日当たりが好きなのか。ブナは全体的に伸び悩んでいた。２００３年に植樹したから１３年経過した。いくらブナの成長が遅いといってもある程度にはなる。

何というか、矮小・盆栽傾向というか、こじんまりし過ぎている。伸び伸びしていないのだ。理由は分からない。ただ、ＮＯ．９だけは、順調に育っていた。これが本来の姿かも知れない。

元々、ブナの成長は遅いという。成木になるのに５０年（ブナは高木だから成木は３ｍ以上。３ｍの高さで枝葉が茂ると、相当の大きさ（体積）になる)、更に花を咲かせ実を結ぶのに３０年必要といわれる。だから、たかだか１３年くらいで、大騒ぎすることはないかも知れない？？！！（笑い）

このブナの成長を将来見守るのは、孫子の代まで続くだろう。気の長いミッション。ある意味、楽しみな事業である。

三島・ワタナベ看板
謹製

長い杭が大変

実生から１３年の
ブナ達

愛鷹連峰・越前岳（１５０４ｍ）ブナ植樹測定値（単位・ｃｍ）

２００３．０６．０１～

	2003.06.01（日）	2007.10.1（日）	2013.08.22（木）	2016.06.11（土）			
NO.1 最大高	5～10cm	70cm	77	77			
最大幅	〃	30cm	54	54			
NO.2	〃	60	60	60			
	〃	30	43	45			
NO.3	〃	40	40	49			
	〃	15	17	17			
NO.4	〃	50	58	20			
（伸び悩み）	〃	30	43	10			
NO.5	〃	45	57	57			
	〃	20	45	45			
NO.6	〃	50	50	39			
	〃	10	16	23			
NO.7	〃	70	不明	36			
	〃	25	不明	45			
NO.8	〃	不明	不明	不明			
	〃	支え木のみ	不明	不明			
NO.9	〃	70	83	116			
（順調木）	〃	20	63	90			
備考	実生ブナ			杭・ロープ交換			

概念図（割愛しました）

山行NO.　１６９２
日　時　２０１６．０６．２６（日）
山　名　富士山・宝永山２３５２ｍ峰
参加者　４名

御殿場は霧だったが、演習場上は快晴だった。水ヶ塚から上る。歩荷訓練は、後藤＝１５ｋｇ、ＨＫ＝１０ｋｇ、ほか５～６ｋｇ。涼しくて気持ち良い上り。花は苔桃が満開で延々と咲いていた。御殿庭で昼食。ここはいつ来ても良い所。静岡市の１５名位が五合から来た。歩き易い道を水ヶ塚に戻る。ゆっくり「美人の湯」に入った。近場の山は有難い。

６．今後の山行予定（会山行は、原則第二・四土曜日）

ＮＯ．１６９４	０７月０９日（土）	定例ハイク・霧ヶ峰
個人山行	０７月１６日（土）	
ＮＯ．１６９５	０７月２３日（土）	ハイクの日＝近場で実施
ＮＯ．１６９６	０７月２９日（金）～３１（日）	夏山合宿　燕岳～常念岳～蝶ヶ岳
ＮＯ．１６９７	０８月１１日（木）	山の日の集い＝御殿場・乙女キャンプ場
	０８月１３日（土）	定例ハイクは中止
	０８月２７日（土）	ハイクの日＝気温と相談
	０９月１０日（土）～１１（日）	東部ブロック交流会＝市川大門
	１１月１２日（土）	秋のバスハイク
	１１月２６日（土）～２８（日）	秋山合宿＝未定
	１２月２６日（月）～３０（金）	冬山合宿
２０１７年０１月１５日（日）		定例ハイク 県連交流ハイク・東部の山

８．今月のベスト・ショット

６/４　蓼科山
最後の上り

蓼科山・峰桜

ブナ植樹地整備

6/２６　宝永山２３５２m峰

紅花一薬草

以上